

資料番号	11
------	----

令和6年10月18日
課名 商工労働局経営革新課
担当者 担当課長 森川
内線 3460

広島県経済の動向

令和6年10月18日

商 工 労 働 局

目 次

1	経済動向の概要	1
	（1）国内経済の動向	
	（2）広島県経済の動向	
2	県内主要製造業の生産動向	3
	（1）鉄鋼	
	（2）自動車	
	（3）造船	
	（4）一般機械	
	（5）電気機械	
3	県内小売業等の動向	5
	（1）百貨店・スーパー	
	（2）宿泊・飲食サービス	
	（3）観光	
4	中小企業の動向	7
	（1）概況	
	（2）景況感・景況感の変化	
	（3）前月から変化のあった主な業種	
5	企業倒産状況	9
	（1）概況	
	（2）業種別	
	（3）原因別	
	（4）今後の見通し	
6	最近の雇用失業情勢	10
	（1）県内の有効求人・求職の動向	
	（2）県内の新規求人・求職の動向	
	（3）県内の人員整理の状況	
	（4）完全失業率の状況（全国・県内）	

（注）「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

1 経済動向の概要

(1) 国内経済の動向

ア 概要

指 標	R 6年		
	7月	8月	9月
基調判断	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	
輸 出	おおむね横ばいとなっている		
生 産	このところ持ち直しの動きがみられる		持ち直しの動きがみられる
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	持ち直しに足踏みがみられる	一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる	
住宅建設	弱含んでいる	おおむね横ばいとなっている	
消費者物価	緩やかに上昇している		
企業収益	総じてみれば改善している		

イ 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和6年9月18日公表)】

(2) 広島県経済の動向

ア 概要

指 標	R 6 年		
	6 月	8 月	9 月
基調判断	緩やかな回復基調にある		
輸 出	横ばい圏内の動きとなっている		
生 産	横ばい圏内の動きとなっている		
設備投資	増加している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している	緩やかに改善している	
個人消費	緩やかな回復基調にある		
住宅投資	弱めの動きとなっている		
消費者物価 (除く生鮮食 品、広島市)	前年を上回っている		

イ 県内の経済の先行き

先行きの景気は、緩やかな回復が続くことが期待されるが、海外経済の動向や物価動向などが県内の経済金融情勢および回復のペースに与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和6年10月1日公表)】

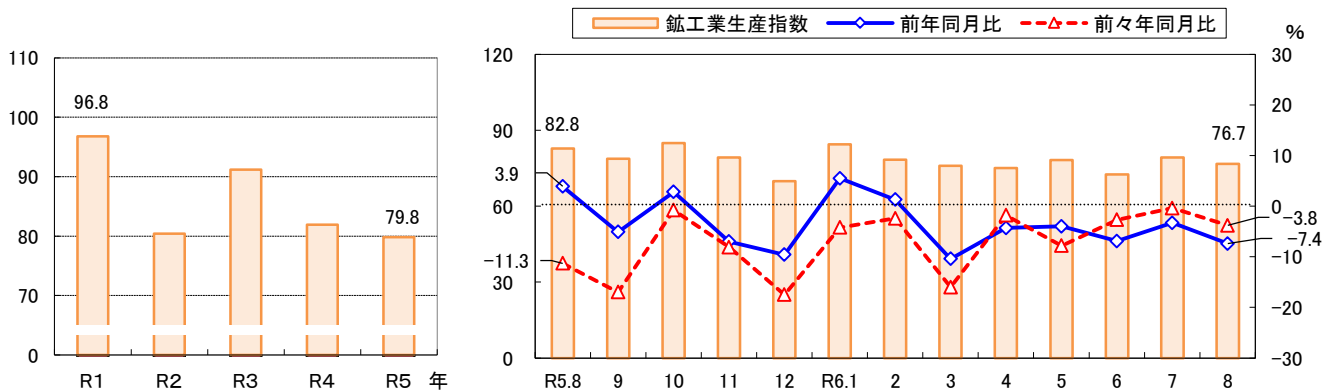
2 県内主要製造業の生産動向

(1) 鉄鋼（令和6年8月）

8月の鉄工業生産指数（鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年＝100）は76.7で、前年同月比で7.4%減少、前々年同月比で3.8%減少となっている。

鉄工業生産指数（鉄鋼業）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【県統計課】

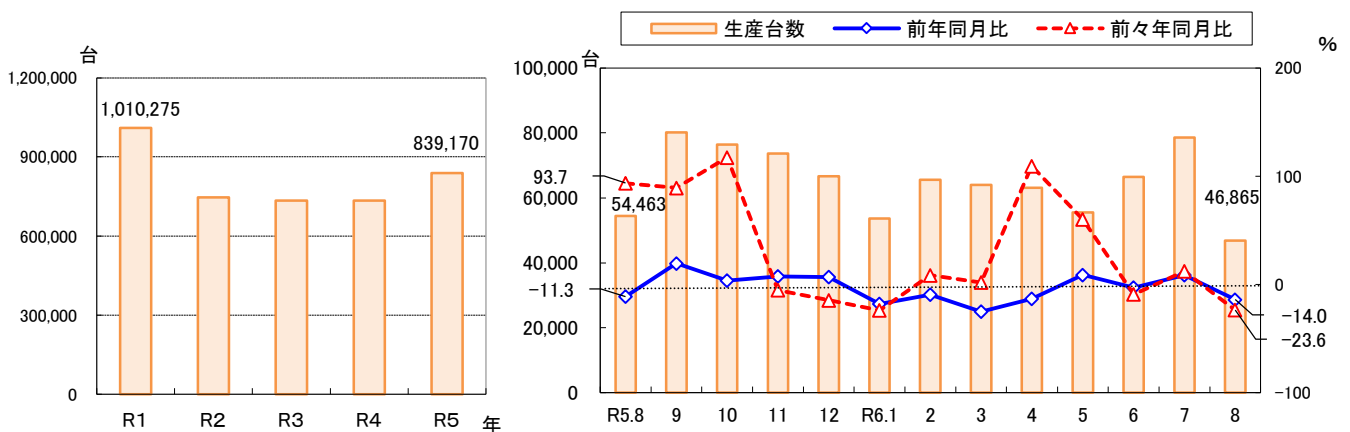


(2) 自動車（令和6年8月）

8月の国内生産台数は46,865台で、前年同月比で14.0%減少、前々年同月比で23.6%減少となっている。

自動車生産台数（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【マツダ（株）】

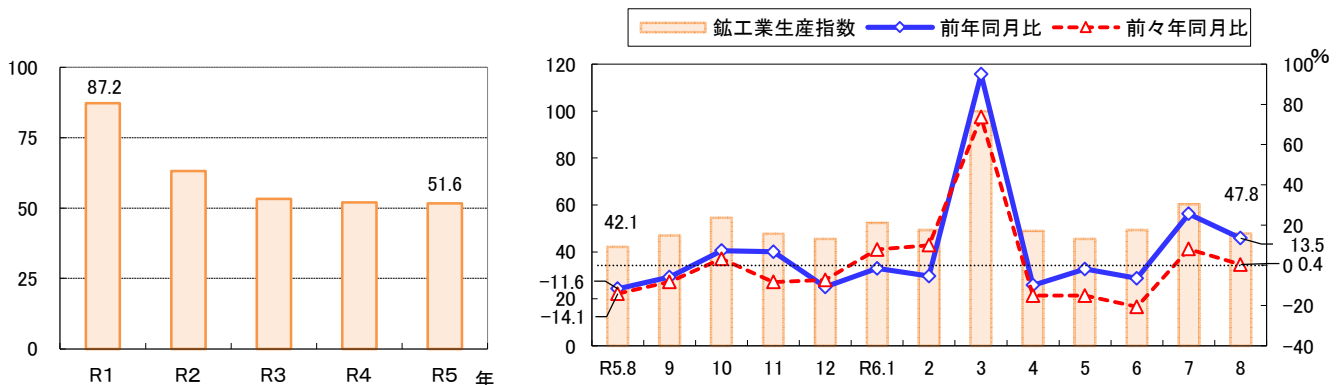


(3) 造船（令和6年8月）

8月の鉄工業生産指数（造船部門、原指数、速報値、平成27年＝100）は47.8で、前年同月比で13.5%増加、前々年同月比で0.4%増加となっている。

鉄工業生産指数（造船部門）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）

【県統計課】

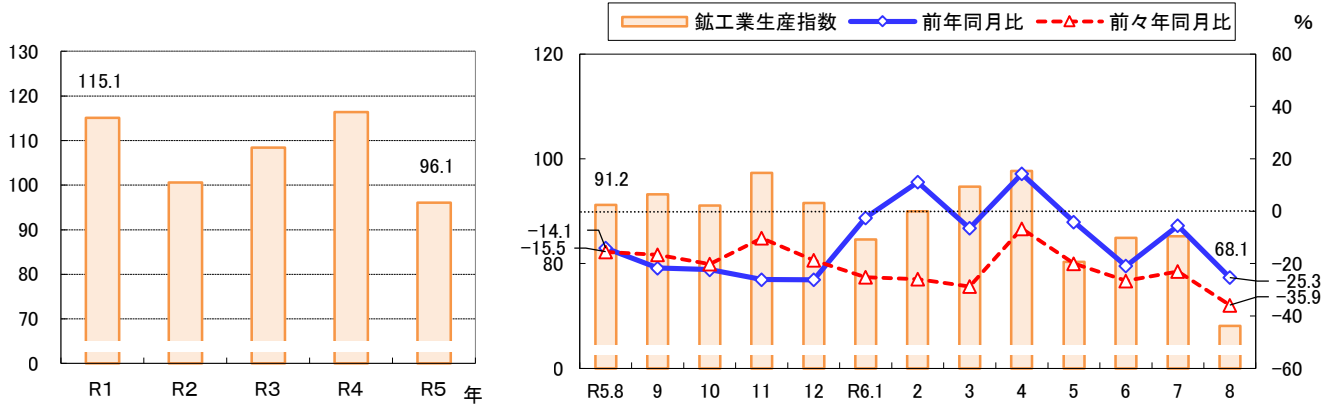


※造船部門に含まれる鋼船修理は、工事終了時での報告に依拠しており、令和6年3月において、生産指数の大幅上昇に寄与していた。

(4) 一般機械 (令和6年8月)

8月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は68.1で、前年同月比で25.3%減少、前々年同月比で35.9%減少となっている。

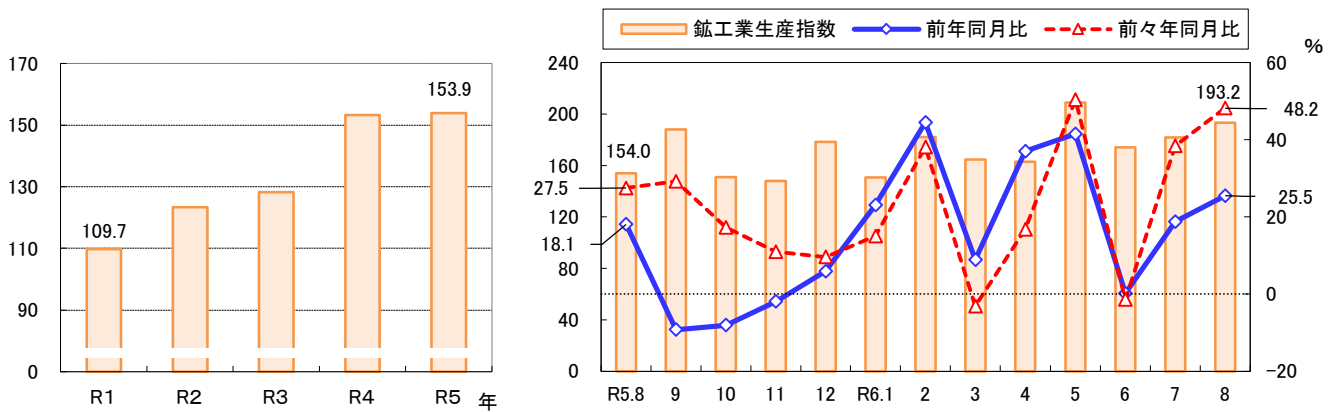
鉱工業生産指数 (一般機械 (総合)) (年別、月別・前年同月比・前々年同月比) 【県統計課】



(5) 電気機械 (令和6年8月)

8月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は193.2で、前年同月比25.5%増加、前々年同月比で48.2%増加となっている。

鉱工業生産指数 (電気機械工業 (総合)) (年別、月別・前年同月比・前々年同月比) 【県統計課】

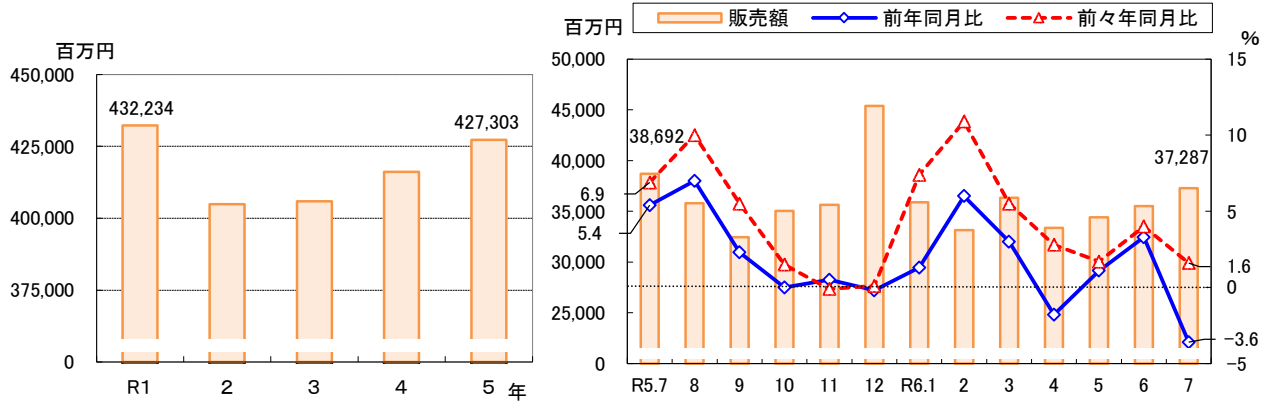


3 県内小売業等の動向

(1) 百貨店・スーパー（令和6年7月）

広島県の7月の販売額は、37,287百万円（速報値）で全店舗前年同月比で3.6%減少、前々年同月比1.6%増加となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向（広島県）（年別、月別・前年同月比・前々年同月比）【中国経済産業局】



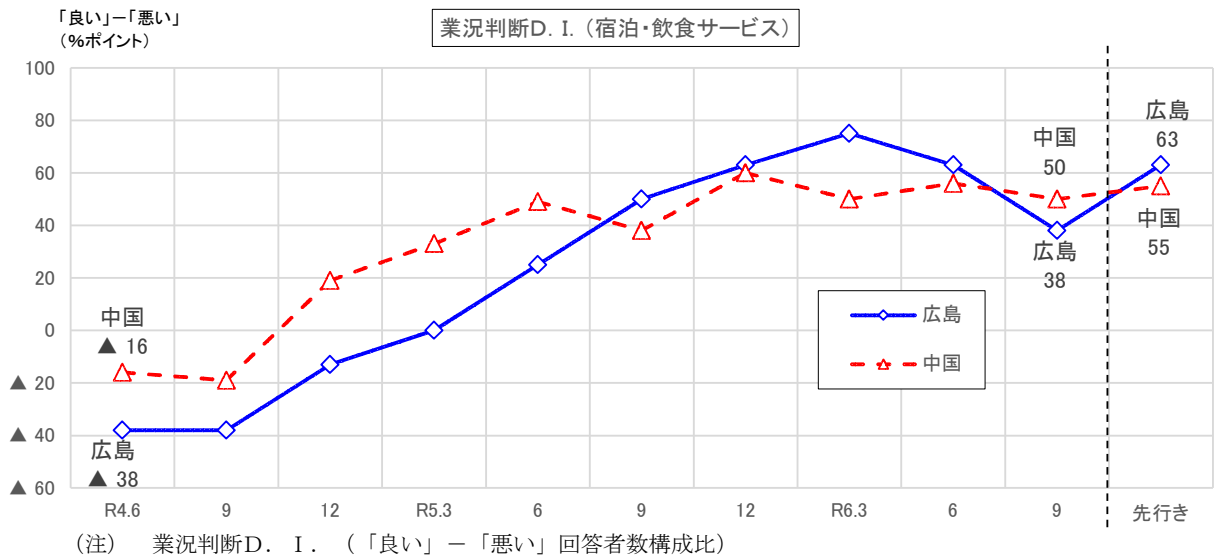
(2) 宿泊・飲食サービス（令和6年9月）

広島県の9月の業種別業況判断D. I.（宿泊・飲食サービス）は、38%ポイントと前回調査時より25%ポイント悪化している。

（「良い」－「悪い」、%ポイント）

調査月	令和6年3月	令和6年6月	令和6年9月	
			最近	先行き
業況判断D. I. (変化幅)	75 (+12)	63 (▲ 12)	38 (▲ 25)	63 (+25)

【日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査結果の概要」（令和6年10月1日公表）】



3 観光

(1) 宿泊者数（令和6年7月）

直近の数値である、令和6年7月の宿泊者数は96.3万人泊で、前年同月と比べ4.2万人泊増（＋4％）、コロナ前の令和元年同月と比べて2.1万人泊増（＋2％）となった。また、外国人宿泊者数についても7月は15.7万人泊で、令和元年同月と比べて3.0万人泊増（＋23％）となった。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】
（単位：万人泊）

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1－7月計	
広島県	宿泊者数	74.6	80.6	109.4	100.5	111.6	92.5	96.3	発表前					665.5	
	R 5年宿泊者数	71.7	72.8	100.6	97.2	112.3	86.2	92.1	118.1	94.5	109.5	111.5	90.4	632.9	
	R 5年比	104%	111%	109%	103%	99%	107%	104%	—	—	—	—	—	105%	
	R 元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	652.6	
	R 元年比	100%	105%	107%	92%	103%	106%	102%	—	—	—	—	—	102%	
全国	宿泊者数	4,565	4,785	5,511	5,190	5,390	5,036	5,666	発表前					36,143	
	R 5年比	109%	112%	104%	110%	105%	106%	104%	—	—	—	—	—	107%	
うち外国人	広島県	外国人宿泊者数	7.3	8.4	19.9	22.8	19.9	13.6	15.7	発表前					107.7
		R 元年宿泊者数	7.0	6.2	11.6	18.1	12.5	9.8	12.7	10.5	9.3	16.5	10.6	7.4	77.9
		R 元年比	105%	136%	171%	126%	160%	139%	123%	—	—	—	—	—	138%
	全国	外国人宿泊者数	1,124	1,152	1,298	1,450	1,356	1,347	1,470	発表前					9,197
		R 元年比	122%	124%	136%	129%	139%	140%	136%	—	—	—	—	—	133%

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査

R6年は宿泊旅行統計調査の速報値で、R元年及びR5年は、確定値を反映。

R6年の宿泊者数は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

(2) 県内主要観光施設の観光客数（令和6年8月）

5月～8月は、5年ぶりとなる大型イベントの通常開催や、市による消費喚起キャンペーンの実施などにより、R元年及びR5年同期水準を上回る施設が複数あるなど、観光客数は回復基調にある。

【各観光施設からの聞取調査】
（単位：人）

観光施設	R元年				R5年				R6年			
	5月	6月	7月	8月	5月	6月	7月	8月	5月	6月	7月	8月
広島平和記念資料館	241,864	150,107	130,919	213,606	174,513	169,049	149,828	200,400	237,034	169,768	159,579	220,905
	R 元年比	—	—	—	72%	113%	114%	94%	98%	113%	122%	103%
	R 5年比	—	—	—	—	—	—	—	136%	100%	107%	110%
宮島来島者数	538,903	301,989	292,467	447,417	392,775	313,426	308,462	450,855	446,501	313,095	308,357	427,009
	R 元年比	—	—	—	73%	104%	105%	101%	83%	104%	105%	95%
	R 5年比	—	—	—	—	—	—	—	114%	100%	100%	95%
大和ミュージアム	114,423	62,797	72,655	141,051	71,733	50,038	59,151	105,264	79,664	51,397	62,935	105,439
	R 元年比	—	—	—	63%	80%	81%	75%	70%	82%	87%	75%
	R 5年比	—	—	—	—	—	—	—	111%	103%	106%	100%
道の駅たけはら	17,514	12,987	13,975	16,191	10,741	9,176	8,621	10,504	10,484	14,779	7,901	10,404
	R 元年比	—	—	—	61%	71%	62%	65%	60%	114%	57%	64%
	R 5年比	—	—	—	—	—	—	—	98%	161%	92%	99%
神楽門前湯治村（定期公演）	3,810	2,707	2,099	3,517	2,391	2,262	1,899	1,865	2,383	2,858	1,186	1,751
	R 元年比	—	—	—	63%	84%	90%	53%	63%	106%	57%	50%
	R 5年比	—	—	—	—	—	—	—	100%	126%	62%	94%
千光寺ロープウェイ	58,650	30,611	35,979	50,681	49,308	30,378	34,944	53,834	48,796	30,717	35,016	51,993
	R 元年比	—	—	—	84%	99%	97%	106%	83%	100%	97%	103%
	R 5年比	—	—	—	—	—	—	—	99%	101%	100%	97%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	1,725	1,154	912	1,654	1,917	853	829	1,208	1,617	911	1,003	1,191
	R 元年比	—	—	—	111%	74%	91%	73%	94%	79%	110%	72%
	R 5年比	—	—	—	—	—	—	—	84%	107%	121%	99%
国営備北丘陵公園（千人）	77	22	28	44	46	26	26	33	50	15	19	30
	R 元年比	—	—	—	59%	120%	90%	75%	65%	71%	66%	69%
	R 5年比	—	—	—	—	—	—	—	110%	59%	74%	92%

3 中小企業の動向（令和6年8月）

【広島県中小企業団体中央会（令和6年9月13日時点）】

(1) 概況

一部の業種では、景況に関して回復傾向が見られるが、多くの業種では売上減少等により依然として厳しく、また、猛暑による悪影響も一部で見受けられる。先行きについても回復が期待される中、仕入価格高騰、コスト上昇や人手不足などの要因の他、金利上昇の不安要素が加わり、見通しの立たない状況が続いている。

自動車関連業種では、8月の国内自動車販売台数は前年同月比▲3.5%と2ヶ月ぶりに減少。マツダ車は▲19.6%と9ヶ月連続で減少した。

また、木材業界では、8月の全国新設住宅着工戸数は66,819戸で前年同月比▲5.1%。県内の8月の着工戸数は1,214戸で、前年同月比▲16.7%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「8月の生産・販売状況について」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の8月分のデータに基づく

(2) 景況感・景況感の変化

業種	7月の景況感	8月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	やや好況
化学	普通	普通
プラスチック製品	やや悪い	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	普通
金属製品	普通	普通

業種	7月の景況感	8月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	普通	やや悪い
自動車部品	やや好況	やや悪い
造船	普通	普通
建設	やや悪い	普通
トラック輸送	やや悪い	普通
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	7月	8月	増減数
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	7	8	1
やや悪い	11	10	▲1
悪い	1	1	0

(3) 前月（7月）から変化のあった主な業種

業種	7月の景況感	8月の景況感	変化の理由・状況
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	普通	仕入価格の高騰分を販売価格へ転嫁することに時間が掛かっているが、徐々に値上げ傾向にある。 【軀鉄鋼協同組合連合会】
建設	やや悪い	普通	カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、8月度は前月比+43.1%、前年同月比+78.9%となった。広島駅再開発及び周辺の物件が活発に動き始めた。 【広島県室内装飾事業協同組合】 官庁関係からの大幅な受注増加により、当月分の受付件数は588件となり、前年同月比で6割増加となった。 【福山地区電気工事業協同組合】
トラック輸送	やや悪い	普通	荷動きが悪い状態が続いていたが、持ち直ししつつある。 【松永地区トラック事業協同組合】
電気機械器具	普通	やや悪い	売上は前月比▲2.0%、前年同月比▲2.0%となった。中国や東南アジアの電気関係の景況が悪化している事が要因。 【広島県東部機械金属工業協同組合】

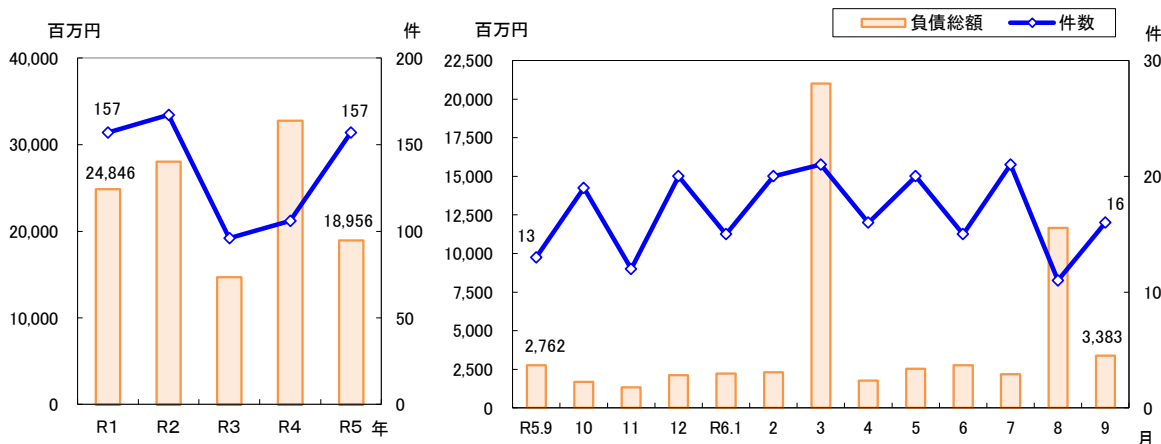
5 企業倒産状況（令和6年9月）

（1）概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が16件、総額33億8,300万円であった。
- ・前月比で件数は5件増加し、負債総額は82億7,100万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は3件増加し、負債総額は6億2,100万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生は1件あった。

区 分	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月
件 数 (前年同月比)	21件 (110.0%増)	11件 (47.6%減)	16件 (23.1%増)
負債総額 (前年同月比)	2,177百万円 (204.1%増)	11,654百万円 (107.8%増)	3,383百万円 (22.5%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別・月別・前年同月比)



（2）業種別

件数は、卸・小売・飲食業が8件、サービス業が4件、建設業が3件、製造業が1件となった。負債総額では、卸・小売・飲食業、サービス業、建設業、製造業の順となった。

（3）原因別

原因別では、販売不振が11件、既往のシワ寄せが5件であった。

（4）今後の見通し

令和6年9月度の倒産件数は16件で、9月度としては平成27年の20件以来、最大の件数となった。負債総額は33億8,300万円で、10ヶ月連続で前年同月比を上回り、依然として増勢傾向が続いている。

業歴別倒産状況では30年以上が4件、20年以上30年未満が3件、10年以上20年未満が4件と業歴10年以上の倒産が全体の68.7%を占め、前月8月度では業歴10年以上の倒産が全体の63.6%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が11件で最多となり、既往のシワ寄せは5件、売掛金回収難は0件で、これらを合計した不況型倒産は16件で全体の100%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は9月度16件中6件発生し、これまでの累計は266件（負債総額1,000万円以上かつ弁護士一任・準備中を含む）となっているが、このうちゼロゼロ融資を利用した企業は1社あった。

コロナ禍の資金繰り支援が縮小・終了するなか、7月31日に日本銀行が政策金利の0.25%引き上げを決定。9月に入ると多くの金融機関が短期プライムレート（返済1年以内最優遇金利）を0.15%引き上げた。金融機関は預金利息引き上げ、そして貸出金利の引き上げに動き、マイナス金利解除後の低金利から「金利のある世界」へ大きな転換を迎えた。

大手企業や資金余力がある企業は借入依存を抑え、必要に応じて金融機関から低金利の借入もできる。だが、多くの中小企業は自己資本に乏しく、金融機関からのつなぎ資金が不可欠だ。金利上昇局面の金融機関は、業績不振や過剰債務を抱えた高リスクの貸出先には債務者区分に応じ金利でメリハリをつけるだろう。そのため、企業は安定収益で金利負担を吸収できるように、生産性向上に向けた抜本的な経営改善が求められる。

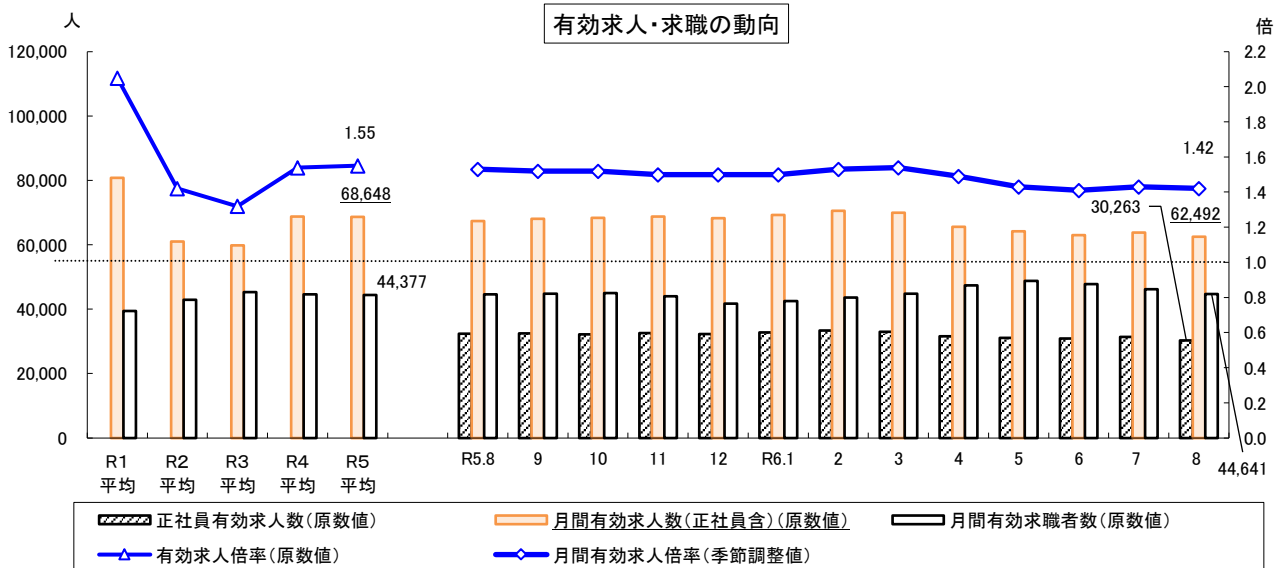
金融機関の貸出金利の上昇が現実味を帯びるなか、物価高や最低賃金を含む人件費上昇など、コストアップ圧力は強まっており、資金余裕を欠いた企業は事業継続のため、運転資金への充当を優先する動きが窺える。秋口以降、企業の資金需要は活発になる時期を迎える。過剰債務などコロナ禍の負荷を抱えた企業を中心に、企業倒産は増減を繰り返しながら増勢をたどるとみられる。

6 最近の雇用失業情勢（令和6年8月）

（1） 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月
有効求人倍率（季節調整値） （前月比）	1.41倍 （▲ 0.02ポイント）	1.43倍 （+0.02ポイント）	1.42倍 （▲ 0.01ポイント）
正社員有効求人倍率 （前年同月比）	1.14倍 （▲ 0.02ポイント）	1.18倍 （▲ 0.01ポイント）	1.17倍 （▲ 0.04ポイント）

【広島労働局】



（注1）正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

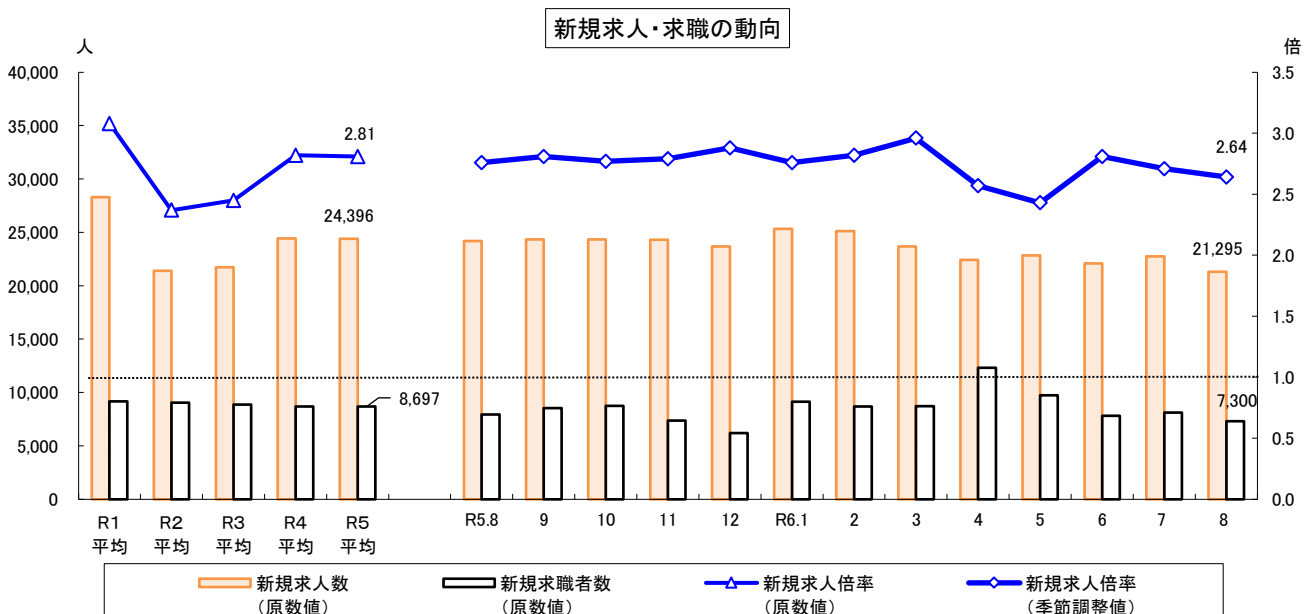
（注2）正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

（注3）季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

（2） 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月
新規求人倍率（季節調整値） （前月比）	2.81倍 （+0.38ポイント）	2.71倍 （▲ 0.10ポイント）	2.64倍 （▲ 0.07ポイント）

【広島労働局】

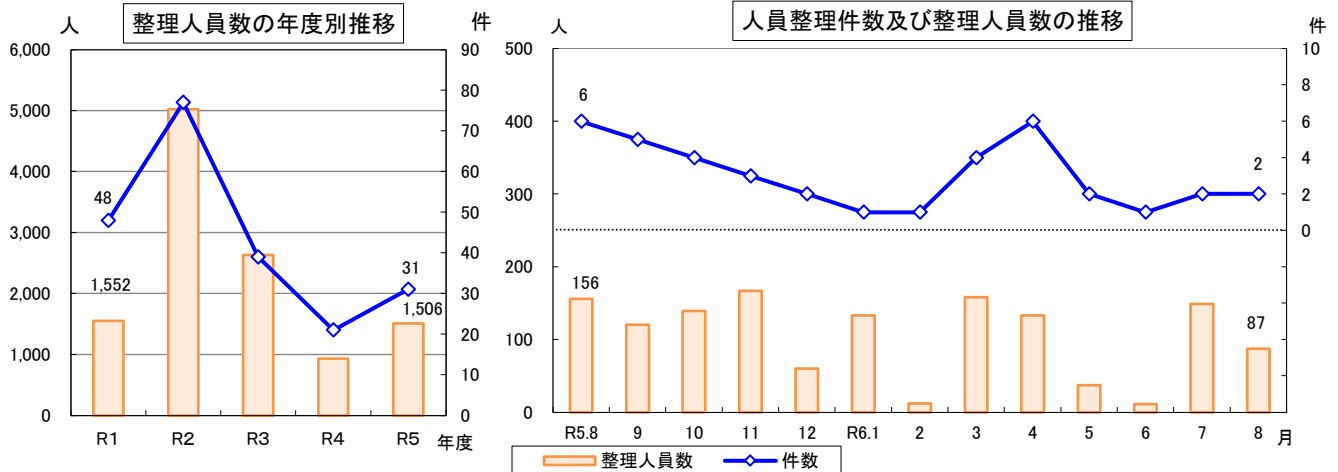


（注）季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。

(3) 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月
件数 (前年同月比)	1件 (▲ 1件)	2件 (± 0件)	2件 (▲ 4件)
整理人員 (前年同月比)	11人 (▲ 133人)	149人 (+ 98人)	87人 (▲ 69人)

【広島労働局】

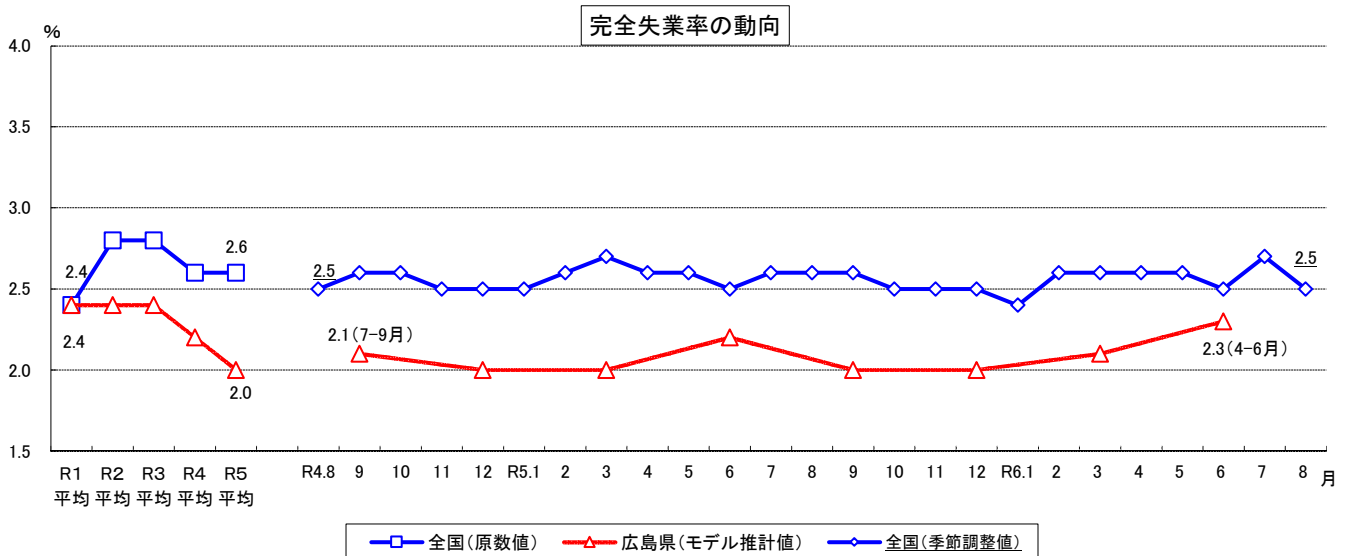


(4) 完全失業率の状況(全国・県内)

区 分	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月
全国完全失業者数 (前年同月比)	181万人 (+ 2万人)	188万人 (+ 5万人)	175万人 (▲ 11万人)
全国完全失業率〈季節調整値〉 (前月比)	2.5% (▲ 0.1ポイント)	2.7% (+ 0.2ポイント)	2.5% (▲ 0.2ポイント)

区 分	令和5年	令和6年	
	10~12月平均	1~3月平均	4~6月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.0% (±0.0ポイント)	2.1% (+0.1ポイント)	2.3% (+0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去にさかのぼって改訂される。
 ※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。